

おおくまの絆



Contents

- 発刊によせて-渡辺利綱町長- 2
- スマイルネットワーク 喫茶店「レインボー」 3
- 合同運動会・ふるさとまつり 4・5
- 開業・開店のお知らせ 6・7
- サンライトおおくまからのお知らせ
 役場からこんにちは 8
- 社協からのお知らせ 9
- みんなのフォトギャラリー 10
- あの人に伝えたい「ありがとう」 11
- キラキラキッズ「大熊町野球スポーツ少年団」 12



町民は一家族

「おおくまの絆」発刊によせて
大熊町町長 渡辺 利綱



町民の絆を大切に

東日本大震災、原子力発電所事故以来9ヶ月が過ぎ、ここ会津若松も冬の到来を感じる季節となりました。他の地域へ避難されている町民の皆様にも、初めて大熊町以外で冬を迎える方も多いかと思えます。これから本格的な寒さに向かいますので健康には十分御留意ください。

皆様の生活や賠償、除染、復興など町の課題は山積みですが、私は常日頃より地域コミュニティの重要性も感じております。会津若松市内の仮設住宅では、行政区単位での入居を進め地域コミュニティの維持に努めてきました。しかしながら会津若松でさえ、借り上げ住宅にお住まいの皆様には、そういう面で生活環境の違いに不安を感じさせてしまっていることも事実です。まして、他の地域に避難されている町民の皆様は不安な気持ちを感じると思うと非常に心苦しく思います。

11月5日に開催した「おおくまふるさとまつり」では、県内外から約2,500人の町民が懐かしい顔を求め会津若松市に集まりました。集まった皆様の笑顔に「町民が心をひとつにする」ことの大切さへの思いがさらに強まりました。

この「町民が心をひとつにする」「町民の絆」を大切に考え、この度大熊町コミュニティセッション誌「おおくまの絆」を発刊することいたしました。

「おおくまの絆」では「広報おおくま」では伝えきれない町民の皆様の近況や、大熊町関連の開店、開業情報などを御紹介してまいります。

この「おおくまの絆」が県内外様々な地域での新たな大熊町民によるコミュニティの形成、絆を深め合えることの一助となれば幸いです。

「町民は一家族、みんなで戻る」を合言葉に、絆を大切に力を合わせ前向きに歩んで行きましょう。



スマイルネットワーク

大熊のみんなの笑顔をお届け

1

このコーナーでは毎回、笑顔でがんばっていらっしゃる大熊町民の方を紹介させていただきます。

まず第一回の今回は大熊町の方にはおなじみ、大熊町役場近くで長年営業されていた、喫茶店「レインボー」さんが10月5日に会津若松市湯川町にて営業を再開されたということで、オーナーの武内一司さんにお話を伺いました。

コミュニケーションから笑顔を広げる、憩いの場を提供したい

喫茶店レインボー 会津若松市 武内一司さん

大熊町から会津若松市に避難されてからこのようにお店を再オープンされることになったきっかけを教えてください。

「ずっと避難生活を続けて、だんだんと落ち込んでくる自分がかかり『これではダメだ!』と大熊町商工会に相談しました。仮設住宅の中でも良いから少しでも大熊町民の憩いの場所を作りたいと思っていただく、7月上旬にこの場所のお話をもらい、県からも援助があるということだったので「ここを始めよう!」と決心しました。ですが、始めるにあたり申請期限があったため、時間のない中でバタバタと準備したのは大変でしたね。」

オープンされてからの大熊・会津若松の方々の反応はいかがですか?

「大々的に告知はしておらず、役場にお知らせを貼ったり、周りの方々にお知らせする程度だったのですが、口コミもあって徐々に大熊の方々にも来ていただいています。またお店の向かいが竹田総合病院ということもあり、多くの会津若松のお客様にも来店いただき、大熊町から来たことを知っている方々からは『会津でもがんばってください!』などたくさん励ましの声をいただきました。」



店先のランチメニュー看板が目印 日替わりで違う味が楽しめます!



落ち着いた店内に飾ってある絵は大熊の店舗から持ってきたそうです

大熊町民の皆さんへ
メッセージをお願いします。

「避難している中、ずっと塞ぎ込んでいっては前に進めません。私はお店を再開する前まで毎日朝六時に鶴ヶ城の広場に行き、地元の方々たくさんお話をさせてもらいました。そうやってコミュニケーションを取るだけでも世界が広がります。そして皆さんの気分転換の場所となれるようがんばって行きますので、来店お待ちしております。」



喫茶店 レインボー

〒965-0863
福島県会津若松市湯川町1-58
木下ビル2F

●TEL 0242-28-2277

営業時間▶午前9:00~午後8:00
定休日▶日曜日

合同運動会

平成23年10月1日(土)
会津若松市旧河東第三小学校校庭



勝負の行方に一喜一憂!

去る10月1日、大熊町の幼稚園児・小学生・中学生、その父兄、応援してくださる河東のみなさんが一同に集う合同運動会が開かれました。会津に学校を移設してからはじめての大きな行事を子供たちは全力で楽しんでいました。



大会会長 大野小学校
大清水校長先生

こちらに避難した当初は授業もままならない状態でしたが、徐々に学習環境が整い各学校の先生の協力を頂いて、町民体育祭に似た形で今回実施できたことを大変嬉しく思います。

今日の子供たちが元気に走り回っている姿を見て、保護者の方々もこれからみんなががんばるぞという気持ちになれたんじゃないかなと思います。



大日本住友製薬株式会社 震災復興支援室
室長 斉藤雄一郎さん(右)

我々は製薬会社ですが今回皆様が震災にて遭われた心の傷は残念ながら薬では治せません。そうであれば別の形で皆様の傷を癒せればと思い、今回この様な支援をさせて頂きました。

全国の社員に今日のボランティアを募集して18名参加さてももらい、来れなかった社員も各テントに貼ってあります応援フラッグ二五〇枚を一枚ずつ手作りで作って参りました。

まだまだ長い道のりかもしれませんが、我々はこちらからも支援を続けて行きたいと思っております。今日のお子様の元気や笑顔を見ていただいたご両親がまた元気になっていただければお手伝いした甲斐があったと感じております。

㈱キャリアリンク
学校スマイル応援プロジェクト
事務局代表 若江眞紀さん(左)

学校の先生方は子供たちに思い切り運動会をやらせてあげたいという思いと、地域の方々にも楽しんでもらいたいという思いから開催されましたが、まさにその通りの素晴らしい大会になり私どもも大変感動しております。

町民の皆様はまだご苦労されているかと思われませんが、それでも元気ががんばってらっしゃる姿を拝見すると、逆にこちらが元気をもらいました。今後とも継続的にサポートをさせて頂きたいと思えます。

ボランティアグループ大熊ふれんず
代表 古川さん

四年間使われてなかった旧河東第三小学校に生徒さんを迎えると聞いて自分たちに何か出来ることはないかと聞いたところ、当初は飲み水や日用品などもないということで支援をさせて頂きました。校庭も荒地状態でしたが、まずは花壇を作ろうということでもみんなの花を植え整備いたしました。

会津は「住めば都」といっており、四季折々の良さがあると

ころです。「冬は大変」ではなく冬も楽しんで欲しいと思います。私も33歳からスキーを覚え冬を楽しんでいます。今日は子供たちの笑顔を見て私たちも元気をもらいました。ありがとうございました。

シンガーソングライター
「Queen&Shifo」Shifoさん

震災があつてから自分に何出来ることはないかとずっと考えてきましたが、今回縁があり歌わせていただけ嬉しく思っています。一人でも多くの方に元気を渡せたらという想いを込めて歌いました。これからまだ先が見えない状況が続いていますが、みんな大熊町の皆さんを応援していますし、私も今後はこちらで歌わせてもらえればと思います。共にがんばっていきましよう!



Shifo さん

アーティストに曲を提供する傍ら、作詞・作曲も自ら手掛ける、シンガーソングライター。



先生と生徒と一緒に。



大熊ふれんずの方々。応援にも熱が入ります。



家族で宝拾い競争!

大野小 PTA 会長 石田 宗宏 さん

震災があって大野小が無くなってしま
うのではないかと心配しましたが、先
生たちや関係者の方々に開催が出来
ました。子供たちにとって初めての行事
となりましたが元気いっぱいの姿を見
れてとても嬉しく思います。

熊町小 PTA 会長 末永 隆一 さん

避難してからこの会津若松市、河東の
皆様には大変お世話になりました。幼稚
園から中学校まで支援して頂いたおかげ
でこの元気な姿を見せられたと思ってお
ります。大熊町の方におかれましても、こ
れからも支えあってがんばりましょう。

大熊中 講師 堀部 紗織 さん

練習時間が少なかったの
ですが、本番では子供たちが
一生懸命練習した成果が現
れていました。みんなまと
まってしっかり発表できて、す
ごく良かったと思います。



大熊小 5 年 前田 菜奈 さん

避難してから他の学校では運動会があまり出来
ないなか、こうやっていろんな人たちが協力して運
動会をやらせてもらえてとても感謝しています。



大熊中 1 年 末永 蓮 さん

自分たちだけじゃなく小
学校などの運動会も一緒
にできて楽しかったです!



ライオンダンス活動を行う
アーティスト、黒田征太郎さんと
一緒に、舞臺ライオンダンスを体験



会場は大賑わいです!!



大熊町 ふるさと まつり

主催:大熊町観光協会
事務局/



上手に
蹴られるかな?



大声大会では、
子供から大人まで
思いっきり叫びました

九月の時点で開催が決まり、あ
まり時間がない中での準備とな
りましたが何とか大熊町の方々
が集まれる場所を作りたいとい
う強い思いがありました。積極的
に協力を申し出ていただいたイ
ベント会社さんやヨークベニマル
さん、JA全農福島さん、埼玉県
三芳町からは町長自らお越し
ただいてふかし芋をご提供いた
だいたりと本当に色々な方々か
らのご支援を受けて開催するこ
とができました。この場を借りて
改めて御礼を申し上げます。

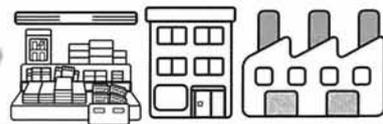
今回、開催ができて何より嬉し
かったのは、会場の至る所で町民
の方々が抱き合いながら再会で
きたこと。「逢えてよかった!」
「今どこに住んでいるの?」とい
う声が聞こえる毎に開催して本
当に良かったと感じました。
会場となった松長近隣公園仮
設住宅には、大熊町商工会が立ち
上げた「おみせ屋さん」があり、地
元の子供たちや住民の方々もお
買い物に来てくれる交流の場と
なっております。皆さん是非ご利用
ください。

大熊町にて毎年十一月の第二土曜日に開催されていた「大熊町ふるさと
とまつり」が、今回は十一月五日(土)会津若松市松長近隣公園仮設住宅
駐車場にて開催されました。会場にはおよそ二千五百人程の多くの来場
があり、ヒーローショーやカラオケ大会、「ふるさとに届け! 大声大会」な
どの各イベント、各種出店、各協力団体ブースなどが設けられ、大熊町民
の多くの方が同に会する、とても賑わいのある一日となりました。
共催された大熊町商工会会長蜂須賀禮子さんにお話を伺いました。





開業・開店のお知らせ



あお整骨院

志賀 隆洋 さん

大熊町の皆さん、お元気ですか？

会えない方々のこと、ずっと気になっておりましたが、縁あってこの度、平中神谷の地で再開業することが出来ました。

お近くまでお越しの際は元気なお姿を見せに来ていただけるとう嬉しいです。



受付時間 午前8:30~12:00
午後2:30~ 7:00
※水曜・日曜午後・祝祭日は休診

〒970-8021 福島県いわき市平中神谷字前河原20-1
●TEL・FAX 0246-57-0123

株式会社アイシーエレクトロニクス

代表取締役 岩本 久美 さん

3/11の震災・原発事故を受け大熊町での事業継続が不可能となりました。

震災直後から社員・客先・友人・知人の応援を受け、4月中に事業再開に必要な最低限の機械等を大熊工場から運び出し、5月から小名浜(住吉神社の近く)で仮工場を再開する事が出来ました。

大熊での事業再開を望んでいましたが、放射能汚染状況を鑑み大熊での再開は不可能と判断し、8月にいわき市好間工

業団地に工場用地を取得しました。

約40年大熊を拠点として頑張ってきましたが、いわき市で来年1月には新工場完成させ、第二の事業拠点として頑張る覚悟です。

好間工業団地には大熊町の仮設住宅が出来上がり、大熊町が非常に近くなったと嬉しく思っています。

大熊在住同様時間がありましたら是非会社の方に遊びに来てください。



〒971-8124 いわき市小名浜住吉不毛13-5
●TEL 0246-58-2570 ●FAX 0246-58-2571
●http://www.ice-japan.jp/
●E-mail iwamoto@ice-japan.jp

家庭料理・スッポン料理あらかぶ

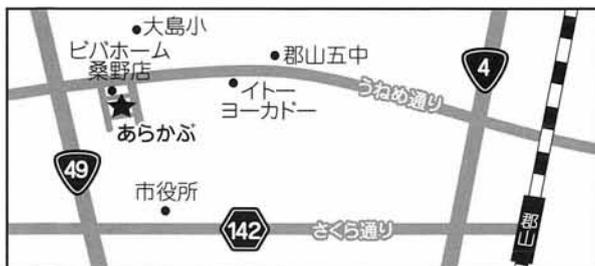
清水 さん

大熊町で被災してやっと郡山で小さいながらもお店を出すことが出来ました。

一品料理からすっぽん料理まで、心を込めて作ります。おにぎり、お茶漬、ラーメン、うどん、そばも手を抜きません。お客様に喜んでいただくことが一番です。

ぜひ一度ご来店ください。

MENU	一品料理.....199円~	ラーメン(正油・みそ).....609円
	揚げ物.....336円~	もつ鍋(1人前).....840円
	焼き魚.....451円~	すっぽん料理(4~5人前)
	各種定食.....714円~12,600円



〒963-8025 福島県郡山市桑野3丁目13番地3号
かつみマンション105号室
●TEL・FAX 024-921-7600

Asian Dining ROAD

アジアンダイニングロード

佐藤 栄子 さん

大熊町の皆さん、元気でがんばってますか？

私は8月25日にアジアンのお店をオープンしました。知らない町で商売をするのは大変ですが、ゼロからのスタートで頑張ってます!!近くにきたら懐かしい話で盛り上がりましょうネ。

皆さんに会えるのを楽しみにしています。



〒963-8024 福島県郡山市朝日3丁目5-25
●TEL・FAX 024-923-3663

共同印刷株式会社

鈴木 充男 さん



9月1日より郡山の地におきまして事業を再開致しました。現在社員数は約半数の32人ですが、またみんなですごく楽しく仕事ができる日を夢見て元気に頑張っております。



郡山事業所

〒963-0202
郡山市柏山町87番地
●TEL 024-973-5693
●FAX 024-973-5694

南相馬営業所 〒975-0076 南相馬市原町区信田沢字下信田沢328-3
●TEL 0244-26-8613 ●FAX 0244-26-8623

郡山金屋工場 〒963-0725 郡山市田村町金屋字マセロ42-1
●TEL 024-983-7162 ●FAX 024-983-7163

●HP <http://0240.jp/kyodo/>
●E-mail kyodo@eos.ocn.ne.jp

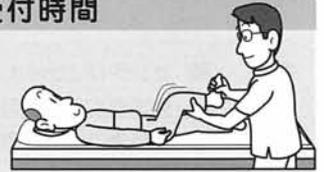
植田接骨院

植田 和徳 さん

こんにちは、植田接骨院です!
平成23年10月17日に開院いたしましたので、
よろしくお願ひ致します。

受付時間

平日:午前9時~12時
午後3時~7時
土曜:午前9時~12時
※日曜・祝祭日は休診



〒965-0021 福島県会津若松市山見町243-4
●TEL 0242-85-8587 ●FAX 0242-85-8589

株式会社いんふお

野口 美佐子 さん

お元気でお過ごしですか。弊社は郡山市内に仮事務所を設け、6月に「いんふお」復刊号を発行しました。離れ離れになってしまった大熊町、近隣地区の皆さんに少しでも元気な近況情報を届けたく、何とか踏ん張っています!慣れない土地での生活は不便なことばかりかと思いますが、どうかお身体を大切に一緒に頑張っていきましょう。



現在、「いんふお」は県内全域に配布中!PCからは電子BOOKでご覧になれます。耳寄りな情報、ご参加お待ちしております!

〒963-8799 福島県郡山市朝日2-24-6
郵便事業株 郡山支店 私書箱95号
●TEL・FAX 024-983-7950
●HP <http://www.i-info.jp/>
●E-mail noguchi@i-info.jp

喫茶レインボー

武内 一司 さん

ランチが2種類になりました。レインボーランチと日替りランチです。どちらもボリュームたっぷりです。

ランチタイム(AM11:00~PM3:00)は、コーヒー、紅茶無料サービス中!

おいしいコーヒーとデザートもおすすりめです。



〒965-0863 福島県会津若松市湯川町1-58 木下ビル2F
●TEL 0242-28-2277

サンライトおおくま デイサービスセンターからのお知らせ

3月11日の東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故に伴い「サンライトおおくま」のすべての事業を一時休止しておりましたが、この度大熊町からの要請を受けまして、デイサービス及びグループホームを会津若松市内の仮設事業所において再開いたしました。

つきましては、デイサービスセンターをご利用いただき、少しでもご利用者のストレス・不安を解消し、又ご家族のご負担を軽減され、楽しい日々をお過ごしいただければと願っております。下記の内容をご理解いただき、一人でも多くの方々がご利用くださることをお願いいたします。



場 所 サンライトおおくまデイサービスセンター

会津若松市一箕町松長一丁目17-1(松長仮設住宅敷地内)

利用対象者 避難者で要支援認定者または要介護認定者

利用者負担 食費 一食あたり500円(おやつ代含む)

介護利用料 要支援…1ヶ月 約2,300円~4,500円

要介護…1日 約760円~1,200円(要介護度により異なります)

※但し、災害救助法の適用により介護利用料について当分の間は免除となります。

利用時間 午前10時から午後4時まで(送迎時間は含まず)

送 迎 施設側で送迎しますが、ご家族が送迎されても結構です

利用内容 介護、入浴、レクリエーション、リハビリ、昼食など



申し込み・相談などの問い合わせ先 ▶ ●デイサービスセンター 0242-85-6161 ●グループホームやすらぎの里 0242-24-3738

役場から こんにちは! Vol.1

このコーナーでは大熊町民の生活の窓口となる大熊町役場の各部署を改めてご紹介します。

今回は大熊町役場会津若松出張所の代表電話番号の対応担当、渡部千恵子さんにお話を伺いました。



電話交換業務係
渡部 千恵子 さん

—はじめに業務内容を教えてください。

代表電話番号にかかってくる電話に対し4回線4人体制で対応しており、かかってくる内容も多種多様で様々なため、まずは内容をお伺いしそれに合った部署へ取り次ぐという業務が中心となります。

—こちらが開設されてから現在に至るまで問い合わせに変化はありますか？

はい。当初はこちらは安否確認業務も兼ねておりましたので、住民の方々の確認情報が多数ありました。

現在は安否確認は落ち着いたものの、避難されている方々の様々な悩みや問い合わせが増えております。また、会津若松市内の方をはじめ全国の方々からから励ましの言葉やご意見を頂戴しております。

—渡部さんが心掛けている事、町民のみなさんへメッセージをお願いします。

私個人だけではなく部署として心掛けている事として、まずは我々の声や対応が大熊町役場としての始めの対応となるため、その責任の大きさを感じながら「電話して良かった」「声が聞けて安心した」と思われるように気持ちを込めて丁寧に対応しております。

ほんの些細なことでも構いませんので、分からないことや不安な事がありましたら、ぜひお気軽にご連絡ください。



大熊町役場 会津若松出張所 大熊町公式ホームページ臨時サイト <http://www.town.okuma.fukushima.jp/>

〒965-0873 福島県会津若松市追手町2番41号 (会津若松市役所 追手町第二庁舎内)

電話 0242-26-3844 代表(8時30分~17時15分) FAX 0242-26-3794 E-mail okuma@town.okuma.fukushima.jp



つながっぺ! おおくま 社会福祉協議会からののお知らせ

大熊町社会福祉協議会 〒965-0873 会津若松市追手町 2 番 41 号 (会津若松市役所 追手町第 2 庁舎内) TEL:0242-29-5760 FAX:0242-29-5761

生活支援ボランティアセンター 「つながっぺ! おおくま」

六月十四日(火)に生活支援ボランティアセンター「つながっぺ! おおくま」を大熊町社会福祉協議会会津若松出張所に開所いたしました。

ボランティアセンターでは、大熊町の方が安心して生活できるよう、協力して下さるボランティアを募り、皆さんのニーズにお応えできるよう取り組んでいます。

これまで、避難先への引越しや仮設住宅でのマッサーツボランティア、支援物資館の協力、学生ボランティアを受け入れての交流事業等行っており、避難をされて

いる町民の皆さんが少しでも安心して生活ができるよう、つながりがたもてるよう、お互いに支えあう仕組みづくりを進めております。



高齢者等サポート拠点施設 「つながっぺ! センター」

九月十六日(金)に高齢者等サポート拠点施設「つながっぺ! センター」を会津若松市一箕町の松長近隣公園仮設住宅敷地内に開所いたしました。

「つながっぺ! センター」では、会津若松市内に避難している要介護高齢者等が安心して日常生活を過ごせるよう、総合相談やデイサービスなどの事業を行っています。

また、その他の生活支援サービスとして各仮設住宅の集会所を利用した地域交流サロンの開催や、一般の交通機関の利用が困難な介護認定者を病院へ送迎する外出支援サービス、高齢者世帯の見守り

を兼ねた配食サービス、理美容店へ行くことが困難な方への訪問理美容サービスなども順次行っています。



生活支援相談員を配置

仮設住宅等にお住まいの皆さんが安心して生活を送れるよう支援するスタッフとして生活支援相談員を採用し、大熊町が居住する仮設住宅のある会津若松市といわき市に拠点を構えて活動しています。

仮の住まいとはいえ、長い入居期間を予想されることから、皆様のお住まいを定期的に訪問させて頂き、前向きで快適な暮らしになるよう皆さんのお手伝いをしてまいります。

生活支援相談員のお仕事

◎皆さんの福祉課題や生活課題を把握し、福祉サービスや生活支援サービスを利用することができるよう、各種調整をおこないます。
◎仮設住宅に入居された皆さんのご近所付き合いをサポートします。例えば、集会所や談話室を利用したサロンの運営なども役割のひとつです。

- 会津若松市生活支援相談室
会津若松市追手町5-32
会津若松市社会福祉協議会内
☎0242-2614077
- いわき市生活支援相談室
いわき市平字菱川町1-3
いわき市社会福祉センター敷地内
☎090-2851-5734

みんなの

フォトギャラリー

①お名前②大熊住所③現住所 コメント



楽しみだった1日のはじまり

①西山啓太さん②熊③新潟県柏崎市
震災後、初めてのディズニーランド!
フィルハーマジックを見る直前ではい!ポーズ!



みんな優しいワン♪

①ロンくん②小入野③いわき市
みんなで散歩もしてくれる人気者です!



いつも笑顔で!

①遠藤仁美さん②大川原③会津若松市
町民の皆さんが笑顔になれるよう、大熊町
社会福祉協議会から元気を届けます!



げんきいっぱい!

①よしのりくん②熊③いわき市
大熊町の幼稚園のみんな元気~!?
僕は元気だよ!また会おうぜ!



我が家のマリンです

①藤澤めぐみさん②熊
③埼玉県加須市
3月12日、自宅の庭にマリンを
置いてきたまま避難してしま
いました。もう再会は諦めかけ
ていましたが、奇跡的に動物愛護団
体さんが助け出してくれ、今は一
緒に避難生活を送っています。
再会出来るまで、沢山の愛護団
体さんや個人のボランティアの
方が遠方にお住まいにもかかわらず、力を貸して下さいました。
本当に感謝しています。



離れていても場所はひとつ

①八代直子さん②熊③いわき市
いわき連絡事務所で頑張ってます!

あの人に伝えたい「ありがとう」

「一緒に帰りましょう」

三月十二日、二時四十六分。仕事中の私は二人で植葉町の六号線を車で移動中でした。

いきなりの大きな揺れ。始めは地震と気づかず、車のタイヤが外れたのかと思いました。急いで近くのコンビニまでたどり着くと、人々が収まらない地震に戸惑っています。その時、町内アナウンスで「今から大津波が来ます！急いで高台か避難所へ移動してください！」。

そこでとつさに思いついたのが「ならば道の駅」でした。外れ落ちた電線、陥没した道路をかわしながら着いた道の駅では避難してきた人達で溢れ、道路状況などを確認し合っていました。携帯電話も繋がらないまま「自分の家族は無事だろうか!? 刻も早く家族の下へ帰りたい！」と焦る気持ちの中、余震が私の足を鈍らせます。「このままでは夜になってしまおう……」

そう思っていた時でした。偶然知り合った男性が「私も同じ方向へ帰りたいんです。一緒に三五号線で向かいませんか。」と声を掛けてくれました。その言葉を聞いた時、自然と勇気が湧いてきました。二台で列を組み、慎重に車を走らせながら何とか山を抜け町中へ。その男性と別れる際は、力強く握手をし「お互いにかんがいました。」と声を掛け合いました。その後、自宅へ辿り着いたのが夜の七時。涙を浮かべみんなで抱き合いました。改めてあの時声を掛けていただきありがとうございます。

①松本さん ②熊さん ③会津若松市



ペットとともに

原発事故の報せを聞いて、私は母、祖母、ペットの小型犬とともに家を離れました。ペットを連れての避難は困難が多く、トイレの事、宿泊先等、行く先々で頭を悩ませました。けれど、膝の上の犬に「大丈夫だよ、大丈夫だよ」と語りかける祖母の姿を見ると、犬を抱り所に行っている祖母から犬を離して、より負担を強いてしまうことはできませんでした。

ニュースの続報を聞きながら、落ち着ける場所を求めて転々としていた私達でしたが、ある日どうしてもその日の宿を見つけたことができないまま日が暮れてしまいました。情報を求めて立ち寄ったペットサロンでも、近くにペットと一緒に宿泊できる施設は無いとのこと。その日はやはりしばらくの間、ペットホテルに犬を預けることを考え始めていました。

すると、どこかに電話をしていたそのサロンのオーナーさんが「泊まれるところ、見つかりましたよ！」と。私たちの事情を聞いてお友達の旅館に連絡をし、犬と一緒に泊まれるよう話をつけてくれたのというのです。旅館の女将さんも犬を飼っていたので、躰ができているのなら、「わんちゃんも大切な家族ですからね、大変だけど頑張つてね」と言われた時は本当に嬉しくて感謝の気持ちがいまぐさ言葉に出来ないほどでした。そのあとすぐ、ペット可のウィークリーアパートを見つけ入居しました。犬がずっと一緒にいたことで祖母をはじめ私たちみんなが元気で励まし合うことができました。サロンのオーナーさん、女将さんには何度お礼を言っても足りません。本当にありがとうございます。ごさいました！

①渡辺さん ②下野上さん ③いわき市



あの人に伝えたい「ありがとう」みんなのフォトギャラリー 皆さんの投稿を募集しております!

A あの人に伝えたい「ありがとう」

震災の時に助けてくれた人へ、避難先でお世話になった人へ、今お世話になっている人へ……伝えたい「ありがとう」はありませんか? 直接言うのが難しい、あなたの「ありがとう」の気持ちを紙面で紹介させてください。

直筆ハガキ、
絵手紙なども
OK!

B みんなのフォトギャラリー

みなさんのお撮りになった写真を募集しております! 大熊町に関すること、震災に関すること、我が家のペット自慢など、題材はなんでもOK! 携帯やデジタルカメラで撮影したものをメールに添付してお送りください。



- ①お名前・②大熊町での大字名・③現在お住まいの都道府県や市町村名をお書きください。※匿名をご希望の際は、その旨お知らせください。
 - Aの「あの人に伝えたい「ありがとう」」はメールの本文かテキストファイルを添付してご応募ください。ハガキ・封書での投稿もお待ちしております。
 - Bの「みんなのフォトギャラリー」は携帯メールかPCメールに画像を添付して、画像のタイトルやコメントも記載してください。
- ※掲載はモノクロになります。※ご応募いただいた原稿は返却できませんのでご了承ください。

メールでの応募先 **okuma@next-hamashin.co.jp** (右のQRコードからもメールを送れます。➡)

郵送での応募先 〒965-0873 福島県会津若松市追手町2番41号 大熊町役場 会津若松出張所企画調整課「おおくまの絆」係





監督の奥山文男さん



キャプテンの末長健人くん

10月16日の日曜日、快晴の空の下、新地町総合公園内野球場で「第9回フレスコ旗争奪少年野球大会相馬大会」が行われ、大熊町野球スポーツ少年団が出場しました。

4月中旬に旧河東第三小学校で大野小学校、熊町小学校が再開されたのを機に、チームを再び立ち上げ、土日祝日に同学校グラウンドで練習を重ねてきました。

「49人いたメンバーは21人にまで減少し、当初は守備のポジションもなかなか定まらず大変でした」と話すのはキャプテンの末長健人くん。野球道具も足りず苦労しましたが、オール東山学童野球スポーツ少年団からグローブやボールなどを提供してもらったそうです。

「初めは子供たちの気持ちも上げづらい部分があり、思ったように試合が出来ませんでした。ここに来てチームが一つにまとまりはじめました」と監督の奥山文男さんは話します。

震災から9ヶ月が過ぎ、子供達も徐々に新しい生活に溶け込んできているようです。

「今は環境にも慣れ、伸び伸びと試合が出来るようになった」と奥山さん。そんな子供達の躍動感溢れるプレーで、坂元スターズ(山元町)には5-3で快勝。続く相馬東部スポーツ少年団野球部には善戦及ばず敗れましたが、グラウンドには子供達の元気な声が響いていました。

みんなのおいをつなげる大熊町コミュニケーション誌

発行 大熊町

おおくまの絆

大熊町役場 会津若松出張所
〒965-0873 福島県会津若松市追手町2番41号 (会津若松市役所 追手町第二庁舎内)
電話 0242-26-3844 代表(8時30分~17時15分) FAX 0242-26-3794
E-mail okuma@town.okuma.fukushima.jp
ホームページ <http://www.town.okuma.fukushima.jp/>

2011年12月発行